

伊勢湾貧酸素情報（第1報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

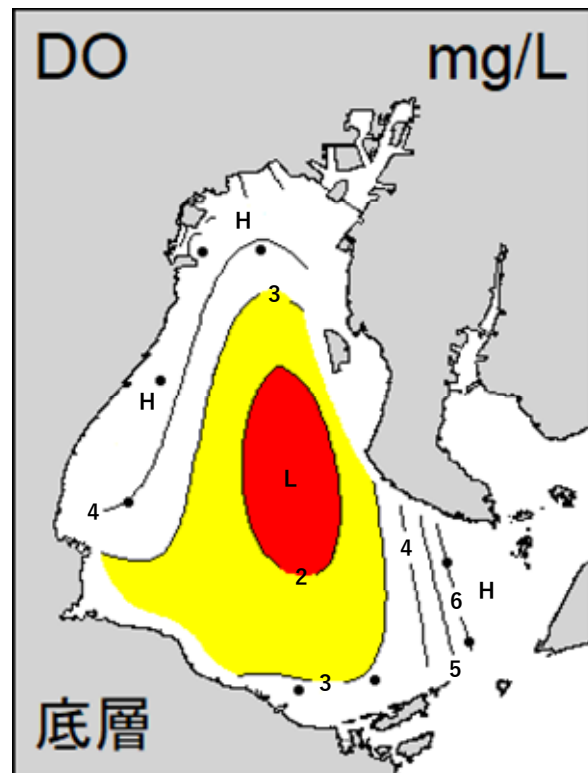
伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度の低下が始まり、湾中央部の底層において2mg/L以下の貧酸素水塊が形成されています。

6月2日の調査結果

6月2日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で19.58～22.35℃、10mで16.89～18.43℃、底層で16.30～18.10℃の範囲にあり、表層は平年並み、10mは平年よりやや低め、底層は平年よりやや高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で7.96～12.65 mg/L、10mで3.31～7.00mg/L、底層で1.45～6.09 mg/Lの範囲にあり、表層は平年よりやや高め、10mは平年よりやや低め、底層は平年並みとなっており、底層には湾中央部において2 mg/L以下の貧酸素水塊が形成されていました。

今後水温の上昇などに伴って、底層の貧酸素水塊が拡大すると予想されますので、貧酸素水塊の動向を注視する必要があります。



底層貧酸素水塊分布図